

『Mind Charging』

第 204 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 2 月 3 日

ジェシー・ジャクソンの名言



Keep hope alive!

希望を持って生きること。

今回の言葉は非常にシンプルではありますが、人間らしく生きていくための“原点”と言える言葉だと思います。特に現在の私たちは以前と比べて“自然に”希望を持つことが少し難しい状況にあります。かつての生活環境から様々な制限をかけられ、仕方がないということは理解してはいるものの、希望を叶えるために表現する場が失われてしまうことが多く、叶えるための努力さえすることができない状況を目の前に、『希望を持っていいものだろうか・・・』と、希望を持つこと自体に疑問や不安を抱いてしまうことも少なくないでしょう。そういう精神状態の時に今回の言葉を投げかけられたとしても、『こんな状況で希望を持ってと言われても・・・』とってしまうかもしれません。

現在、確かに世の中は希望を持つことより不安を抱くことの方が多いと思います。常に不安を抱えた中で希望を持つことや、希望そのものを見出すことは難しい作業なのかもしれません。特に今回の問題は規模が大きく、『太刀打ちできない』と感じるようなことでもあります。これまでも私たちが抱える問題の中には、問題の量や問題そのものによって太刀打ちできないと感じるものがありました。そういった問題は、言い方を変えれば“解決不可能な問題”ということになります。しかし、『解決できないんだから割り切って考えと言われても・・・』と思うでしょう。私も同じ心境ですが、そのまま下を向いたままでは本当に何の解決にもなりません。そこで今一度その問題の解決法を考えてみました。すると、解決法とは違うかもしれませんが、『現状を受け入れる』という考えが浮かびました。現実逃避にも見えますが、少なくともそう考えることで自分が置かれている現状を少し客観視できるような気がしました。この考え方が正解かはわかりません。しかし、『受け入れる』ことが解決のヒントになると感じます。問題を受け入れ、理解することで解決するものもあるかもしれません。そうでないものに対しても理解した上で今後どうしていくのかを考えられたら、受け入れることによって『知る』ということに繋がり、そのことを“アップデート”と捉えられたら、その時はきっと『希望』を持てるアイデアや感情が生まれているはずですよ！（編集委員：入試広報室 鈴木）

ジェシー・ジャクソン(Jesse Louis Jackson, Sr., 1941 年 10 月 8 日 -)は、アメリカの公民権活動家でキリスト教バプティスト派の牧師。(Wikipedia 参照)